



市民活動ニュース

きらめき亀山21

2006年9月



第65号

「お隣さんは外国人」

時代は交流から多文化共生社会へ

K I F A ・ 亀山国際交流の会を設立して5年になります。2001年1月21日に21世紀の亀山市の発展を願って開かれた『きらめき亀山21』市民交流会が始まりで「国際交流」分科会に集まった40名がそれぞれの思いを語りました。

「国際交流財団のような組織や交流する場がない、亀山市は他の市と比べ立ち遅れている、市民同士・隣同士からもできることがある、母体づくり・基盤づくりが大切」など多くの意見が出され、後日また集まることになりました。当時の亀山市の状況は1559名の外国籍の人が登録され、全市民の約4%でした。まだ多くの方は遠くから眺めていたのです。こうして準備会議を経て2001年10月に『K I F A ・ 亀山国際交流の会』が正式にスタートしました。

こんなことしてきました

活動にあたっては「誰もが対等な立場で交流することにより、互いの国の歴史、文化、環境等を理解し合い、学び合い、国際人の心と思いやりを培う場とする」とし、その理念と活動方針のもと、日本語教室の生徒さんとの交流会、市内外に住む外国人との交流会<KIFAMIGOふれあい広場>・東南アジアから集まったIATSSフォーラム研修生との交流会等々、外国語情報紙「KIFA news」の発行（3年後に力尽き休刊）、国際理解の一端として多国籍料理の講習会、短期語学講座の開催、また日本語指導のボランティア養成を目的とした講習会などを開催してきました。

2004年9月5日の紀伊半島沖連続地震で外国人たちが避難場所を求めてパニック状態になったことで、一つの課題が顕在化しました。阪神・淡路大震災や新潟中越地震のようなことが起こったなら同じ市民としてどうなるのだろうか？単に外国人と仲良くしているだけでいいのだろうかなど。



2004年9月の地震は外国人にとって恐怖だった地震津波の説明会に集まった人達

目次：

KIFA5周年 多文化共生社会へ	1
市民交流の日 子どもの安全 どう守る	2 3
市民参画協働室から イベントのお知らせ	4

KIFA 5周年の集い

かめやまエコー
正面ホール

9月24日（日）

11：00～16：00

味わってみよう！

外国の料理

草原のくに

「モンゴル」の音

インカのひびき

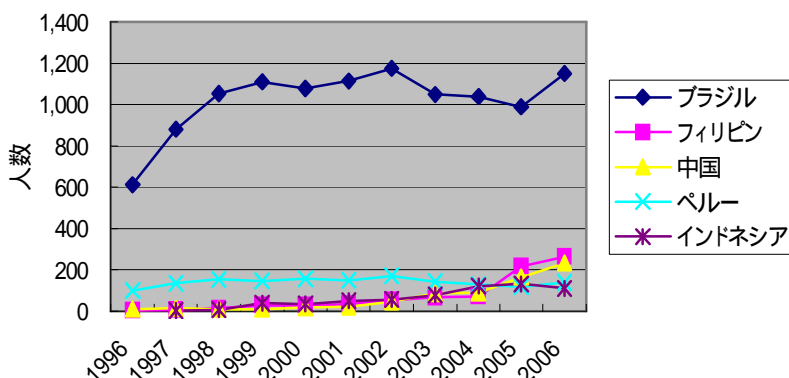
サンバを踊ろう



やがて市民の20人に1人は外国籍の時代に・・・

市内の外国人数は26カ国、2,131人（2006年7月現在）で人口比は4.35%、また102の地区のうち75に外国人が住んでいます。彼らは既に10年近くこの地で産業を支え納税者として、また消費者としての仲間になっています。これからはいわゆる国際交流でなく、同じ亀山市民として、どうやって共生していくかを真剣に考える必要があります。言葉の壁がある中、彼らが市民として同じ情報を受けているのだろうか、子どもたちは学校教育を受けているのだろうか、病院へは行けているのだろうか、災害があったときに地域の人とうまくやっていけるのだろうか等、限りがありません。私たちK I F Aの活動も新たな一歩を踏み出すときにきているのです。（古市 修 記）

この10年の主な国別の推移



最近是中国、東南アジアの登録が増加中

**定例市民交流の日** 2006年8月21日 3F第1・2会議室 出席者49名**テーマ 子どもの安全どう守る**

司会：今年は世代間交流がテーマです。今日は子どもの安全をどう守るか、問題解決に何ができ、これからにつながる意見を期待します。

学童保育所：くれよんクラブ（井田川小学校区）佐熊指導員

子どもが好きでこの仕事に携わった。学童保育所は、母子父子家庭、共働き家庭の子どもの放課後の生活を守り、親の働く権利と家庭の生活を維持する役割もある。宿題、おやつ、漫画、塾に行く子どももいて、放課後の生活そのものになっている。働くことと子育ての両立、子どもの安全確保も社会の課題であり、入所希望者が増加している。



三重県の学童保育所数は、全国では下から4番目で少ない。亀山では11小学校中、4箇所しかなく、祖父母が同居というような地域性もあり、三重県の市の中でも遅れている。今年度から指定管理者制度が導入され、運営委員会に委託されている。運営委員会は、地域の代表・保護者・指導員で構成され、運営資金は国・市補助金と保護者負担金で賄われ、7割を保護者が負担している。学童保育所に6年間通っている子もおり、直接長期にわたって成長発達に関わっている。学童保育所での生活は、放課後の子ども自らの時間。宿題、おやつ、そして何と言っても遊びが中心の世界。その中で集団づくりを進める。また夏休みは朝7時半から夕方6時半まで預かりいつもより多い児童数で過ごす。生活にメリハリをつける為、プール、給食、デイキャンプ、バス旅行等変化もある。保護者に子どもの様子を伝えるのも大切な役割。楽しいだけでなく全人的成長を見守っていく場所である。

**野村地区の子どもの見守り活動**

野村地区コミュニティ会長：野村地区は人口2100、世帯数900、子ども数77名である。南北道路の開通で交通の要所となった。賃貸マンションが急増し、近隣関係が希薄になってきた。地域づくりは安心安全からとの思いから、皆で子どもの見守り活動を行っている。

・愛宕会 42名が当番制で登下校を立哨

納涼会やゲートボールで親睦を深めてきた者同士で愛宕会を結成した。去年の4月から子ども達の安全を見守るため登下校での立哨を開始。子ども達に恐れ場所を聞きその場所にSOSの腕章をつけて立哨している。退職者が中心であるが、参加は任意。良かったと思うことは、子ども達が顔を覚えて親しみをもってくれたこと。今では子どもから声を掛けてくれるようになった。活動には愛宕会以外の方も参加していた。立哨を始めたことにより、地域の防犯意識が向上した。

・南野むつみ会

野村地区は高齢者対象の行事がたくさんある。退職者、子育てを終えた人、孫育ての人、公的な役割に生きがいを持つ人などが集まって南野むつみ会をつくった。児童の見守りは愛宕会を参考に機運が芽生えた。現在会員は17名で、3名の班で6つに分け、曜日毎に配分し昨年9月から下校時の見守り活動を行っている。男性が都合の悪いときは奥さんが出たりして続けてきた。青少年育成市民会議からジャンパーや帽子も提供され活動が評価されてきた。児童と地域住民との接触の機会が増えたことにより、子どもの地域行事への参加も増えた。この活動を例えると、農園の土壌のような存在かと思う。作物としての子どもと家庭を良く育てていきたい。

・西小SOS（北野町・野村地区）

以前から女性部の愛の運動として実施していたが、一般の人もSOS腕章を着用し巡回していた。痛ましい事件の続発から地域全体の取り組みとして親睦会、婦人会、老人会、自治会へ呼びかけ結成した。活動は、無理せず、参加できる人から始めた。地域住民の協力もあり、児童とのふれあいや声かけなど地域の関心と参加の輪が広がった。

当初は12名の参加から32名に増えた。登下校の立哨で、地域全体の防災意識が高まり、安心安全、温かみのあるまちづくりを目標にしている。





参加者から意見等

学童保育所について

育児サポート関係者：遠方まで通っている子もいる。送迎の依頼もある。祖父母が勤めている家もある。学校教育のニーズが高いので、行政に対し各小学校に学童保育所を作ってほしいと提言してはどうか。

行政改革室：小学校に学童保育所が無いと子育て支援策が継続しない。行革は、地域との話し合いで、必要なところにお金かけることでもある。地域と一緒に作り、空いている施設の有効活用をなるべく経費のかからない方法でやりたい。

福祉支援室：以前から保育所を終えて小学校に進んだ子どもが、放課後どうしているか疑問であった。

学校教育室と福祉支援室：国の方針として文部科学省と厚生労働省が連携し小学校内に学童保育所をつくる方針をうちたてている。

子ども放課後プラン：居場所づくり。19年度から予算化。学校の中につくるのが基本。

学校教育室：学校に地域の人に来てもらうと交流になるが、教室の開放は地域で異なっている。

学童保育所関係者：学童保育所を学校につくることに反対ではないが、子育て、安全にはお金がかかるもの。安易に学校に作るのは考えもの。子どもが学校から帰ってきたときの表情や具合が読み取れる関係、話し合える関係まで築き上げたい。学校の中に作るにせよ、きちんと区別できること。子どもが来る時間は年間を通じて学校より長いから充実した内容のものをお金がかかってもやらなければならない。学童保育ではただいまからお迎えまできちんと運営する使命がある。児童センター等、子どもの居場所を作ることと学童保育所を設置することははっきり区別をつけて頂きたい。

意見： 亀山市民会議で各学校区に学童保育所をつくるよう要望を出そう。7年前に学童保育所の要望があったころ津市にはすでにあった。地域の声が無いと進まないしできない。学童保育を必要としない家庭の子は、学童保育の子が多くなって遊ぶ子がいなくなったという事例もある。

野村地区の子どもの見守り活動について

危機管理室：市から防犯ベストの支給をしており、自治会の希望を募っている。地域で防犯機運が高まっていることはありがたいことだと思う。

質問：川崎では声かけ事犯があり地域全体を巻き込んで300名のボランティアが見守りに関わっている。子どもの下校時間の変更等、学校との情報交換を野村地区ではどうしているのか？

答：西小から年間計画はもらっている。毎月25日に変更時間を聞きに行っている。

質：保護者が学校から直接子どもを車で買い物等に連れて行く場合、その子が来ないと見守りボランティアが心配してずっと待っていることがあるが、そういう場合どうしているか。

答：途中で車に乗っていく子はいるがどうしようもない。親の場合は仕方がないのでは。

学校教育室：特別な行事以外下校時間はわかっている。最近はどこ地域も危険度は同じである。全体で危機感が同じになってきている。昨今は子どもにも命が一番大事と教えている。

意見：安心安全運動は南小学校でも行っている。亀山地域の中でどこがどのような活動をしているか調査してみようか。

武蔵大学 粉川一郎先生からコメント

学童保育所について

単なる居場所づくりなのか、地域の中のこどもの集団化か、位置付けをはっきりするべきだ。本来、子どもも地域社会の一員である。昔の子ども組の復活を期待したい。空き教室を利用するという意見があるが、私は反対である。放課後は本来教室を離れ、地域に帰ってきて地域の中で見守るべきだ。行政主導でなくボランティアを集めて行政から資金を出させるのにマッチした分野だと思う。

野村地区の子どもの見守り活動について

愛宕会の設立のきっかけは、趣味の団体のネットワークをつくることだそうだが、その目的が素晴らしい。社会的関係資本（団体のネットワーク）が問題解決の手段になることを証明している。また、会には入らないが活動には参加したいという人を受け入れている。このように、活動への参加が開かれていることが大事である。ベストやジャンパーを作っているとのことであるが、できるかぎりおしゃれなものを作ってください。おしゃれであれば、女性も若い人も着てくれる。こういうものにはお金をかけるべきである。

市民部市民参画協働室からのお知らせコーナー

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
☆ 9月の市民交流の日 ☆
☆ 「子どもの心を知ろう」 ☆
☆ ～子どもの心と発達 ☆
☆ 福祉部子ども総合支援室 ☆
☆ 室長 志村 浩二 ☆
☆ 最近の子ども事情について講演し、その後、話し合いを行います。子どものことを知る良い機会です。ぜひお越しください。 ☆
☆ 日時：9月21日（木）PM7:30～PM9:30 ☆
☆ 場所：市役所3階大会議室 ☆
☆ 問い合わせ先：市民部市民参画協働室 ☆
☆ 84-5008 ☆
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

第7回市民交流会実行委員募集中
日時 9月12日（火）午後7時30分
場所 市役所3階大会議室
* なたでもご参加いただけます。あなたを力生かしてみませんか。
申込みは市民部市民参画協働室（84-5008）まで



市民活動チャレンジ講座
チラシの作り方8月27日
津の市民活動センターから講師に来てもらい好評でした。



坂下での星まつり
8月20日
無数のキャンドルがゆらゆらやさしげな光を灯し、とってもロマンチック！ 天体観測では子ども達も興味津々で見つめていました。将来、天文学者になれるかな？

市民活動チャレンジ講座
第3回「簡単ラクラク会計簿のつけ方」
日時：9月24日（日）PM1:30～PM3:30
場所：亀山市総合保健福祉センターあいあい2階大会議室（羽若町545番地）
講師：特定非営利活動法人 市民フォーラム21
参加費 無料

第4回「おもちゃドクター現る ～長島おもちゃ病院の取組み～」
日時：10月14日（土）PM1:30～3:00
場所：亀山市総合保健福祉センターあいあい2階大会議室（羽若町545番地）
講師：長島おもちゃ病院 院長 丸山 善頌 氏
参加費：無料
* 子ども達に物を大切にする心をもってほしいという思いから始まった活動を紹介します。
問い合わせ先：市民部市民参画協働室 84-5008

ちょっとひと休み
恒例？亀山カクイズ
(1) 亀山で一番多い苗字は何でしょう。
伊藤 豊田 服部
(2) 亀山城は、江戸時代幕府の としての役割を果たしてました。とは何か。
郵便局 旅館 別荘
(3) 亀山と縁の深いヤマトタケルノミコトはある生き物となって故郷大和に帰っていきましたが、それは何でしょう。
白馬 白鷺 白鳥
答えはP3下

市橋隆雄さんを支える会
エコーで写真展
8月11 - 15日
昨年撮ってきた約40枚の写真を掲示
ケニアから来訪の市橋さんが、現地の説明をしました。



市民活動ニュースに掲載する情報・お便りを募集しています。詳しくは市民参画協働室まで

編集作成：「きらめき亀山21」企画会議（問い合わせ先：亀山市市民部市民参画協働室 0595-84-5008）
〒519-0195 三重県亀山市本丸町577番地 FAX0595-82-1434 E-mail shimin@city.kameyama.mie.jp
この月刊新聞はこちらにもあります。【毎月21日市民交流の日・本庁ロビー・市役所市民活動コーナー・関支所・図書館・歴史博物館・医療センター・総合保健福祉センター「あいあい」・関町北部ふれあいセンター・林業総合センター・鈴鹿馬子倶楽部・老人福祉センター・健康づくりセンター・関B&G海洋センター・中央公民館・オアシス館・各地区コミュニティセンター・亀山郵便局・亀山駅前郵便局・市民のショップねこの館・鈴鹿県民センター・みえ市民活動ボランティアセンター（津市）】EMAIL amani@helen.ocn.ne.jp ホームページ http://www6.ocn.ne.jp/~kameyama/
kirameki/ 市民ネット http://www6.ocn.ne.jp/~kameyama/ 情報いっぱい「きらめき亀山21」メーリングリストへの加入は「きらめき亀山21」HPより登録できます。